

「子どもの人権広場」第28回総会 記念講演&パネルディスカッション

凸凹(発達障害)のための おとなのこころがまえ

参加無料
託児あり

昨年文部科学省が全国の公立小中学校に通う子どもを対象に行った調査※では、通常の学級に在籍する子どものうち「学習面や行動面で著しい困難を示す」発達障害の可能性があるとされる子どもの割合は、男子で12.1%、女子で5.4%と推測されています。発達障害への知識が広がり気付かれやすくなったという変化の影響もありますが、この数字は決して低くはありません。今回の総会では、発達障害や発達特性、そこから来る困りごとを「凸凹(でこぼこ)」という平易な言葉で表現し、今年ドラマ化され話題となった人気漫画『リエゾン - こどものこころ診療所 -』監修の医師・三木崇弘さんをお招きします。「凸凹は能力の高い低いではなく、得意と不得意の差が大きいイメージ」と説く三木さん。子どもに向き合うヒントや工夫などを伺いながら、おとなの心構えを一緒に考えましょう。

※令和4年「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」



2023年 **6月4日(日)** 13時30分~16時30分
※16時から総会を予定しています。

場所：**米子市文化ホール・イベントホール** (鳥取県米子市末広町293)

講師 **三木崇弘さん** (小児科医・児童精神科医)

みき たかひろ：兵庫県姫路市出身。愛媛大学医学部卒業、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了(医学博士)、早稲田大学大学院経営管理研究科修士課程修了(経営管理学修士)。小児科後期研修のち国立成育医療研究センターこころの診療部で児童精神科医として勤務。2019年4月よりクリニック、公立学校スクールカウンセラー、児童相談所、児童養護施設、保健所など医療・教育・福祉・行政の各分野で臨床活動。2022年7月より地元にてUターンし、社会医療法人恵風会高岡病院で勤務。週刊モーニング「リエゾン」監修。



パネルディスカッション

三木崇弘さん (当講演会講師)
神庭誠さん (米子市教育支援センターぷらっとホーム 副センター長)
大谷志帆さん (児童家庭支援センター米子みそのセンター長)
遠藤明子さん (鳥取県不登校の親の会ネットワーク 代表 / 虹の会 代表)

無料の託児を利用される場合は
右記の問合せ先へ **5/29** (月)
までにお申込みください

【後援】鳥取県教育委員会、米子市教育委員会

【主催・問合せ先】**子どもの人権広場**

683-0067 米子市東町296 米子東町法律事務所内
tel. 0859-33-1019 fax. 0859-34-0029

※「子どもの人権広場」は、とっとり子育て隊の一員です。